

# 川の本

2006 夏の号 No.61





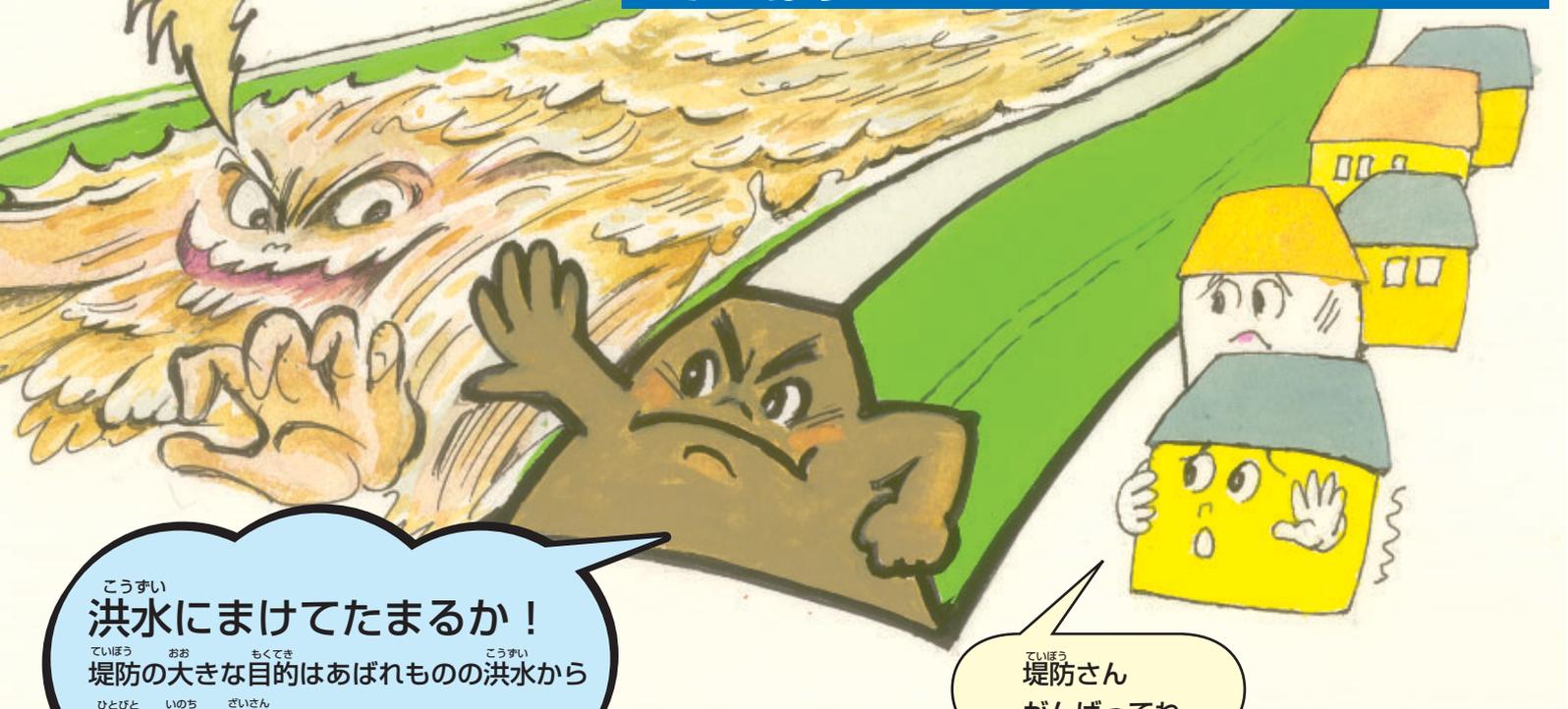
ていぼう  
堤防はどんなはたらきを  
しているのか、  
もくてき  
その目的はなんだろう

たす  
けてー

堤防めっ じゃまするなア  
あばられないじゃあないかア

# 堤防のはたらき

ていぼう

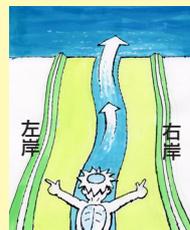


こうずい  
**洪水にまけてたまるか！**  
ていぼう おお もくてき こうずい  
堤防の大きな目的はあばれものの洪水から  
ひと いのち さいざん  
人々の命や財産をまもることなのだ

ていぼう  
堤防さん  
がんばってね

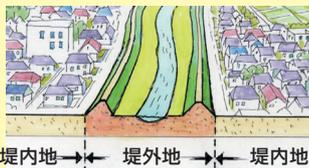
## マメ知識

●川には左と右がある。左岸、右岸はどちら側  
川の流れて行く方向（下流側）を見て、  
左側が左岸、右側が右岸です。



●堤防のどちら側が内か外か

・堤内地…人々が普段、住んでいる堤防に守られて  
いる区域をいいます。  
・堤外地…堤防より川側の区域を  
いいます。



●堤防の高さは、どう決めるの

その川の計画高水流量を基に、その時の川の水位  
を決めて、それに余裕高を加えた高さが計画堤防高  
になります。

(計画高水流量)

川の大きさなどによって、何年かに一度起こると予  
想された洪水の大きさを流量で表したものです。

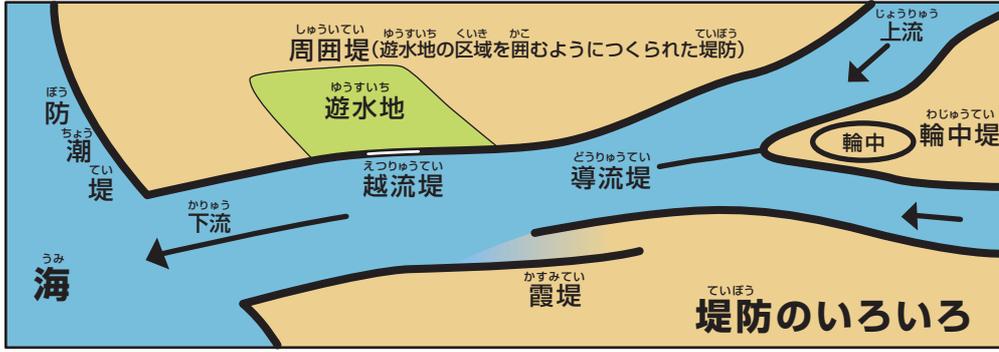
(水位)

流量によって、どこまで水が上がるかを示すもので、  
この場合は計画高水位（H.W.L.）といえます。

(余裕高)

計画高水流量の大きさなどから決めるもので、波な  
どにより洪水が堤防を越えないように安全を考えて  
決める高さです。

堤防は場所やそのはたらきにより、いろいろな種類があります。>



こんなことにならないように堤防さんが守ってくれるのよ

- **導流堤** 川の合流点などで、二つの流れを安定して導くようにつくられた堤防。
- **霞堤** 上の図のように、堤防が連続していないで、上流側と下流側の堤防が重なるようにつくられた堤防。大きな洪水がきたとき、切れた部分から洪水の一部を逆流させて洪水の勢いを弱めさせたり、上流で氾濫した水を、早く川へ出すことができます。
- **越流堤** 堤防の一部分をわざと低く造り、そこから洪水の一部をあふれさせ、洪水の勢いを弱めます。あふれた水を、一時的にとどめておく遊水地などにつくられます。
- **輪中堤** ある区域の集落や田畑などを丸ごと取り囲む堤防のことで、もし川から洪水があふれてきても、この区域はまもられます。
- **防潮堤** 海岸につけられる堤防で、高潮など海からの高波に備えてつくられています。

堤防をまもるために

- **河川の巡視** 河川を定期的に巡視（パトロール）して、河川の利用状況や水の流れ・堤防などの状態、ゴミ捨てなどの違法なことが行われていないか、などを見て回るものです。
- **堤防の点検** 堤防に亀裂やのり崩れなどの危険箇所はないか、洪水によって**漏水**が発生するおそれがある箇所はないかなど、堤防の安全性に問題がないか点検するものです。また震度4以上の地震が発生した場合は、その地域の堤防や水門などの施設を臨時に点検します。  
(漏水) 川の水位が上がることによって、川の水が堤防の反対側に漏れてくることをいいます。
- **維持補修** 巡視や点検の結果から、堤防のり面の護岸の補修を行うなど、必要な対策を行います。また、堤防除草は、堤防の状態を点検する上でも、重要な維持の仕事のひとつです。



● **スーパー堤防 (高規格堤防)**

- ★ 大きな洪水でもこわれな**いは**ばの**ひろい**堤防です。
- ★ 建物や公園など**ふつう**の土地利用ができます。
- ★ 市街地再開発など、**あたらしいまちづくり**とあわせて実施します。

すごいな堤防のうえに公園や街がある



# がんぶちのぬし

石川県 手取川

むかし、石川県手取川の流域に和気三方村(今の河口町)という村がありました。ある年の夏、くる日もくる日も雨がなく、田んぼは干上がってからからです。頼りにする手取川の水さえ涸れはじめました。もうひとつ頼りの川がありました。ふだんはとなりの鍋谷村とおって和気村にも水をはこんでくれている川でしたが、その川もすでに干上がっていました。そのうえ井戸の水さえ涸れはじめたから大変です。

「このままじゃ和気村はせめていじやあ、じりりやええんかじや」

「なげいてもしょうない、ええか鍋谷村の深い淵にはな、不思議なことにも水がらびいじや、あの淵の水をこっそりいたくしかないがんげ」

「鍋谷の村で淵の水口を止めとるから和気まで水が流れてこたのや、止めるほうがわるいんやないんげ、こうなったらかまうこたあない、夜中に出かけて淵の水口を切るしかないがんげ」

そこで和気村人たちはその夜、大きな酒たるをかつぎ鍋谷の淵へと出かけてゆきました。月夜の淵は青白く静まり返っております。

「なんか気味わるいかな」

「火をたくんじや、それで酒を淵の主にささげておけば、こわがるこたあないわな」  
たいまつが火があかあかと淵をてらすと、とくとくとく、酒がそそがれました。

「用意はできたぞ、さあ、淵の水口を切るぞじや」  
みきたとばかりに力じまん若者が水口にくわを打ち込みました。

「がきつ」。なにか堅いものにあたったような音がしました。

そのときでした、地面がぐらぐらとゆれたかとおもって、淵の水がぶくぶくとあわだちたたみ一枚ほどもある大ガニがあらわれ出たのです。その二本の足はせせりつりと傷





# 祭りがある、イベントがある、 夏の川へでかけよう

ふるい歴史や伝統がある川祭りや

たのしいイベントとしての川祭りはいっぱいあるよ。

それぞれの地域の川祭りに参加してみよう。

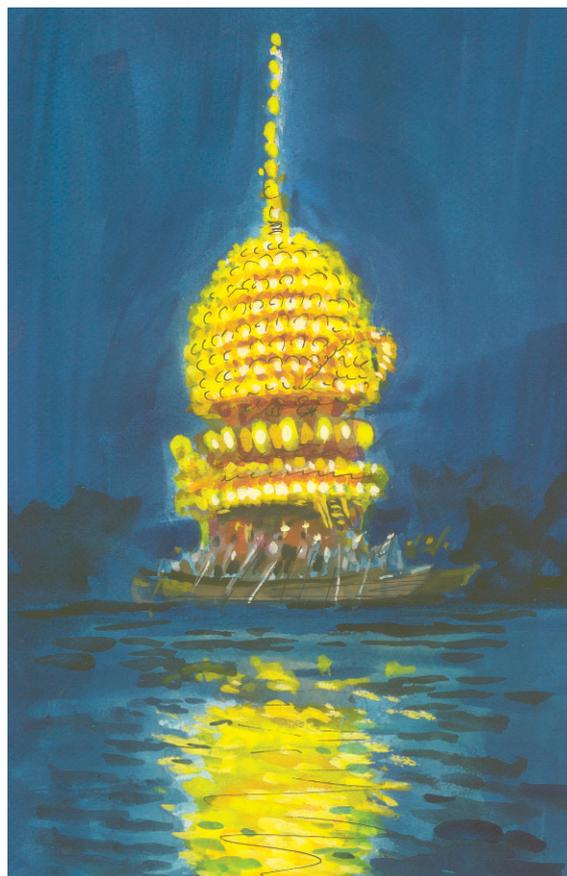
たのしいだけでなく地域の伝統や文化も知ることができる。

夏の川はあそんで学べる絶好の場所なんだ。

家族そろって夏の川へでかけよう。

●全国には有名な川に関するお祭りがたくさんある。

しらべてみるとおもしろいよ。下の絵のお祭りは、川島川まつり（木曾川）で、五穀豊穡、水難防止を願います。



●七夕祭り

今では川に七夕かざりを川に流さなくなりましたが、川にしめ縄をはってそこに七夕をかざる風習（四万十川）などはのこっています。



●たのしい集い <sup>つど</sup> <sup>ちいき</sup> <sup>かわまつり</sup> 地域の川祭り。



●<sup>てづくり</sup> <sup>たいがい</sup> 手作りイカダ大会

今は各地でおこなわれているので <sup>かぐち</sup> <sup>さんか</sup> 参加してみるのもおもしろい。  
人と人、川と人のつながりなど  
見えてくる。  
ただし大人の人と必ずいっしょに <sup>おとな</sup> <sup>かなら</sup> <sup>さんか</sup> 参加しよう。

●<sup>ちいき</sup> 地域の川のイベントは、いろんなまようしものがあったのしい。



●<sup>とう</sup> <sup>なが</sup> <sup>しょうろうなが</sup> <sup>なつ</sup> <sup>おこな</sup> <sup>とう</sup> <sup>なが</sup> 灯ろう流し (精霊流し) 夏の川で行われる灯ろう流しは、<sup>せんぞ</sup> <sup>れい</sup> <sup>くよう</sup> 祖先の霊を供養したり、  
<sup>へい</sup> <sup>わ</sup> <sup>なが</sup> 平和を願ったりするおもいをこめて行われる <sup>げんそうてき</sup> <sup>みょうぶつし</sup> 幻想的な夏の風物詩です。



●<sup>はなびたいかい</sup> <sup>かせんしき</sup> <sup>しか</sup> <sup>はなび</sup> 花火大会 河川敷ならではの仕掛け花火は見ものです。



## コチドリ (チドリ科)

わたしたちコチドリは、全長16センチほどのかわいい鳥です。白い胸には黒いおびもよう、くちばしは短く、目の周りはくっきりと黄色でふちどられています。なかなかおしゃれでしょ、ところがあんがい見つけにくいよ。

川の中～下流の小石がしきつめられたような河原や砂地が大好きで、そこをすみかにしているから、わたしたちの身体が小石と区別がつけにくいよ。外敵に見つかりにくいのでいいのだけど、それでも生まれたばかりの赤ちゃんが見つかったときなど、ハッとするわ、そんな時はわたしが傷ついたふり(擬傷)して敵を自分におびきよせて、命がけでひなを守るのよ。

でもね、わたしたちの赤ちゃんはりっぱよ、卵からかえった時には、もう目も見えてるし、すぐ歩くこともできるし、食べ物も自分でとって食べることができるよ、えらいでしょ。食べ物は川辺の昆虫などをたべています。

あなたたちも、もし、わたしたちを見つけてもそっとしておいてね。



こいし みわ ほごしよく  
小石と見分けがつきにくい保護色のひな



ぎしよう ははどり  
擬傷する母鳥

## 河川愛護月間

[7月1日→31日・7月7日は川の日です]

～川が好き 川にうつった空が好き～



財団 法人 河川環境管理財団

Foundation of River & Watershed Environment Management

(〒103-0001) 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9

住友生命日本橋小伝馬町ビル (2F、3F)

TEL (03) 5847-8302 (企画調整部) <http://www.kasen.or.jp/>